



全日畜だより

[こちら編集部] (03)-3583-8034

東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル

発行日 2019年1月1日

発行NO 2019 - 16号

新年あけましておめでとうございます

謹んで新春のお慶びを申し上げます

いよいよTPP11の経済連携協定が発効となり、国内の生産現場への影響を国内対策施策がカバーできるか結果が出てくる年となります。また、新しい外国人材の受入れルールの創設も4月の制度導入に向けて大きく前進しました。「特定技能の在留資格に係る制度」の運用に関する基本方針が決定し、受入れる分野ごとの運用方針も決定しました。いよいよ新制度が畜産の生産現場で発現する年でもあります。

今年の全日畜は、多くの生産者が抱えている人手不足解消課題に取組みスマート畜産の推進等による生産性の向上や多様な労働人材の確保でこの課題解消に貢献して参ります。

今年も、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(全日畜役員一同)



安井理事

金子理事長

布施監事

鶴菌理事

佐々木理事

山田常務理事



「全日畜」は畜種横断の畜産経営者の団体です

(全日畜運営委員会からも)

おめでとうございます

昨年は、初めて参加した日本中央競馬会畜産振興事業の中で「全日畜シンポジウム(スマート畜産への期待)」を全国2会場で開催し、多くの生産者の皆さんにご参加をいただきスマート畜産の普及啓発活動として大きな成果を上げることができました。今年も多様な事業を展開して参りますのでよろしくお願いいたします。



(運営委員のみなさん)

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 (全日畜)
- ・協同組合 日本飼料工業会 (工業会)

- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金 (全日基)
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会 (〇〇県基金協会)

全日畜が、2月19日（火） 「全日畜シンポジウム in ちば」を開催

◎ 開催日 H31年2月19日(火) 13:30～17:00
◎ 会場 成田ビューホテル（千葉県成田市）
◎ 概要（下記チラシ参照）

全日畜では、平成30年度JRA事業で、第3回目となるシンポジウムを千葉県成田市で開催します。今回はスマート畜産の中の「畜産環境技術」がテーマです。どうぞご参加ください。

（事前の参加登録をお願いしております）

[平成30年度 JRA事業]

全日畜シンポジウム in ちば



スマート畜産への期待

[ご挨拶]

私たち畜種横断の畜産生産者の団体「一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）」は、平成30年度の日本中央競馬会畜産振興事業として「スマート畜産調査普及事業」を実施しております。近年のICT技術（情報通信技術）等の急速な発展により、ロボット技術やCT等の先端技術の畜産生産現場への導入は目覚ましいものがあります。全日畜では、この事業の一環として全国でシンポジウムを開催して、スマート畜産の普及啓発活動を実施しております。今回、昨年7月の鹿児島会場、9月の福島会場に続いて、2月に千葉県成田市を会場に「畜産環境技術」をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

[全日畜シンポジウムの概要]

1 開催日	平成31年2月19日（火）
	第一部 基調講演 13:30～14:30
	第二部 話題提供 14:30～15:30
	第三部 意見交換会 15:30～17:00
2 会場	成田ビューホテル
	〒286-0127 千葉県成田市小菅 700
	TEL 0476-32-1111 FAX 0476-32-1078

[第一部 基調講演の概要]



講師 羽賀清典 氏

演題 畜産環境の技術的課題
— スマート畜産で家畜ふん尿を資源に —

講師 農学博士 羽賀清典 氏
一般社団法人 畜産環境整備機構 管理・技術部 参与
麻布大学 獣医学部 畜産教授

プロフィール 東京教育大学（現 筑波大学）
大学院農芸化学専攻修士課程修了
1973年 農林省畜産試験場、農林水産省畜産環境技術
研究所、農研機構畜産草地研究所に勤務

[第二部 話題提供の概要]

○事例紹介者の紹介



農研機構
畜産研究部門
飼育環境ユニット
主任研究員
中久保 亮 氏

★ 灯油コスト大幅削減！コンボ排熱を活用した豚舎床暖房システム
コンボ（密閉型堆肥化装置）の排気は60～70℃の高温です。この排熱から作った温水を豚舎床暖房に供給する発酵熱床暖房システムを開発しました。福島県での実証試験では、冬期の分娩豚舎床暖房での灯油使用量を75%削減できました。コンボ発酵安定化のポイントと技術開発についてもご紹介いたします。



国立大学法人
帯広畜産大学
環境農学研究部門
准教授
宮竹 史仁 氏

★ 省エネ化・省力化・安全性を追求した堆肥ロボット
帯広畜産大学を中心に開発された「省エネ化、省力化、堆肥の安全性確保」を実現した「E.L.S.堆肥化システム」の開発背景と特徴、北海道での販売・普及活動をご紹介します。また、材料調整・堆肥化から敷料堆肥の自動ベッドメイク、GAP対応堆肥の製造に至る完全自動化の実現や将来のAI構想についてもご紹介いたします。

[第三部 意見交換会の概要]

○生産者代表の紹介



有限会社しなばやし農産
代表取締役 布施 久 氏
(一社) 千葉県養豚協会 会長



株式会社 長嶋
代表取締役 長嶋 透 氏
(一社) 千葉県農業協会 会長



有限会社 下山農場
代表取締役 下山 正大 氏
(一社) 全日本畜産経営者協会 理事

○モデレーターの紹介



(一社) 全日本配合飼料価格畜産安定基金
常務理事 引地 和明 氏
(元、農水省技術会議 研究推進課長)



(公社) 千葉県畜産協会
専務理事 松木 英明 氏
(元、千葉県農林水産部 畜産課長)

○参加をご希望の方はご連絡ください

- ・一般社団法人 千葉県配合飼料価格畜産安定基金協会 TEL 043-224-7824 (瓦井、伊藤)
- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会 TEL 03-3583-8034 (大村、山田)

2019.1.7

商系三団体（工業会・全日基・全日畜）が共催して 第6回 畜産経営者交流会を開催

- ◎ テーマ 「TPP11、日EU・EPA」時代における力強い畜産経営
(サブタイトル ～ 国際化時代を生き抜くには ～)
- ◎ 開催日 平成31年2月14日（木） 13:00から 15日（金） 13:00まで
- ◎ 会場 ホテル メルパルク東京（港区芝公園）

(文中での団体の略称標記について)

- ・一般社団法人 全日本畜産経営者協会（全日畜）
- ・一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金（全日基）
- ・協同組合 日本飼料工業会（工業会）
- ・一般社団法人 都道府県配合飼料価格畜産安定基金協会（〇〇県基金協会）